

九州アメリカ文学会 9月例会

日時：2025年9月20日（土）13時30分～16時30分

場所：福岡大学 文系センター棟 15階 第6会議室

【研究発表】13時40分～14時40分

発表者：Ryu Ki（福岡大学・院）

Shared Lands, Separate Stories: A Comparison of *Little House in the Big Woods* with *The Birchbark House*

司会：銅堂 恵美子（福岡大学）

【ワークショップ】14時50分～16時20分

批評検討会：マリアンヌ・ノーブル『19世紀アメリカ文学の共感と接触を再考する』

講師 生田和也（長崎県立大学）

講師 山口晋平（宮城女学院大学）

【内容】

Marianne Noble の *Rethinking Sympathy and Human Contact in Nineteenth-Century American Literature* (2019) の Introduction, Chapter1, 2 (pp1-114) について登壇者が内容報告をし、参加者との議論を通して、エマソン、ソロー、ホイットマン、ホーソーンらの作品における「共感」のテーマについて再考する。

【文献】

Noble, Marianne. *Rethinking Sympathy and Human Contact in Nineteenth-Century American Literature: Hawthorne, Douglass, Stowe, Dickinson*, Cambridge UP, 2019.